

# TRUSTWIPE

## 取り扱い説明書

Ver.2.6

## 目次

|                          |             |
|--------------------------|-------------|
| 重要 かならずお読みください .....     | <u>23</u>   |
| 動作環境 .....               | <u>45</u>   |
| 基本の使い方 .....             | <u>56</u>   |
| 管理サーバーの画面と機能の説明 .....    | <u>78</u>   |
| 1. ログイン画面.....           | <u>78</u>   |
| 2. ホーム画面.....            | <u>78</u>   |
| 3. ホーム画面のコンピューター一覧.....  | <u>78</u>   |
| 4. コンピューターの詳細画面 .....    | <u>910</u>  |
| 5. ホーム画面のまとめ操作について ..... | <u>1112</u> |
| 6. グループ管理画面 .....        | <u>1213</u> |
| 7. 管理者画面 .....           | <u>1315</u> |
| 8. その他.....              | <u>1415</u> |

## 重要 かならずお読みください

### クライアントプログラムに関する注意/制限事項

- 消去方式はハードディスクドライブのみの構成は 1 回上書き消去、SSD が 1 台以上含まれる場合は 3 回上書き消去が自動で選択されます。消去方式を手動で選択することはできません。詳しくは TRUSTWIPE クライアントプログラム取り扱い説明書をご覧ください。
- 内蔵の SSD/ハードディスクドライブが対象です。USB 接続等の外付けドライブや SD カード、USB メモリ等は消去の対象にはなりません。
- 消去する内蔵ドライブの数量に制限はありませんが、管理サーバーに表示/記載されるドライブは 3 台までです。
- OPAL 等の自己暗号化されたドライブは消去の対象外です。
- ドライブ内のリカバリー領域も消去されます。消去後にコンピューターを再利用する場合はあらかじめリカバリーメディア等をご用意ください。
- TRUSTDELETE Biz パナソニック版がインストールされているコンピューターは本プログラムで消去実行する前に、必ず TRUSTDELETE Biz パナソニック版をアンインストールしてください。
- ドライブの容量や台数、ドライブの損傷状態により消去時間が数時間を要します。消去作業に際して時間の余裕を考慮して実施してください。
- ドライブの損傷やハードウェアの仕様により、消去が正常に開始しない、または消去開始しても終了しない場合があります。すべてのコンピューターで動作を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
- 消去の実行中または完了時の画面に表示される時刻はコンピューターのシステムクロックの時刻を表します。
- 動作対象外の機種は管理サーバーのサポートメニュー内の「よくあるご質問」をご確認ください。
- 以下のいずれかに該当する場合、本製品はご利用になれません。
  - ・BIOS メニューのセキュアブートの設定で[MS only]を選択している場合
- 消去の開始時に BIOS パスワードの入力を求められる場合があります。
- 消去が完了しても BIOS パスワードは自動で初期化されません。コンピューターを再利用する場合は、BIOS 設定画面でパスワードを初期化することをお勧めします。
- 消去実行の際、コンピューターのシャットダウン時に Windows アップデートが実行される場合があります。この場合、画面の表示に従ってください。

- 「Windows セキュリティ」の「デバイスセキュリティ→コア分離」で「メモリ整合性」をデフォルトのオフで请使用してください。詳細は Microsoft のウェブサイトを参照してください。

## 動作環境

### ■管理サーバー アクセス環境

Microsoft Edge

Google Chrome

### ■消去用クライアントプログラムのシステム動作環境

クライアントプログラム対応 OS

Microsoft Windows 11 64 ビット (Windows 11 Home, Windows 11 Pro, Windows 11 Enterprise)

Microsoft Windows 10 64 ビット (Windows 10 Home, Windows 10 Pro, Windows 10 Enterprise)

インストールと実行には管理者権限が必要

セキュアブートの設定で[MS only]または「デフォルトの鍵をインストールする (Device Guard)」を選択している場合、本アプリケーションは動作しません

### ■ハードウェア

CPU: 1GHz 以上を推奨 (ARM アーキテクチャーには対応していません)

メモリ (RAM) : 2GB 以上を推奨

100MB 以上のハードディスク空き容量

本ドキュメント内の機能名称または図は製品のバージョンにより実際の名称またはデザインと異なる場合があります。

Microsoft Windows, Microsoft Windows 11, Microsoft Windows 10, Microsoft Edge は、米国 Microsoft 社の米国およびその他の国における登録商標です。QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。本文中のその他の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

## 基本の使い方

本システムは消去対象となるコンピューターにインストールするクライアントプログラムとそれを一括で管理するための管理サーバーで構成されています。

本ドキュメントは管理サーバーに関する取り扱い説明書です。クライアントプログラムの操作方法は TRUST WIPE クライアントプログラム取り扱い説明書をご活用ください。

コンピューターを消去するまでの主な手順は以下の通りです。

1. まず本ドキュメントの 7 ページ以降を参照して管理サーバーにログインして、管理者メニューでシリアル番号を確認してください。
2. 管理サーバーの「サポート」メニューでクライアントプログラムをダウンロードできます。
3. 組織内のコンピューター利用者にクライアントプログラムと以下の情報を通知してください。
  - インストール後の登録に必要なシリアル番号
  - グループ機能によって部署ごとの管理を実施する場合は該当するグループ ID (詳細は 7. グループ管理画面の項を参照)
  - 備考欄を利用してコンピューターや利用者の補足情報を収集する場合はその指示
  -
4. コンピューターの利用者にクライアントプログラムのインストールと登録作業を依頼します。
5. 管理サーバーで登録されたコンピューターを確認します。
6. コンピューターに対して消去の許可を実行します。1 台単位でも複数台数を選択して一括で許可することもできます。詳細は本ドキュメントの各項を参照してください。

※消去許可を実施する際は対象となるコンピューターが正しいか入念に確認してください。
7. コンピューターの利用者に消去を許可したことを通知します。このとき以下の注意事項をお伝えください。
  - 消去を開始するとドライブ上のデータがすべて消去されること。必要なデータはあらかじめバックアップすること。
  - 消去実行後はコンピューターのドライブ内のリカバリー領域も消去されるため、コンピューターに同梱の取扱説明書等を参照して、あらかじめリカバリーメディアを作成すること。
  - コンピューターをインターネットにつないだ状態で作業すること。
  - ノートパソコンの場合、必ず AC アダプターにつないだ状態にしておくこと。
  - 消去開始直後の再起動時に BIOS パスワードを求められたら、パスワードを入力して消去の開始を確認すること。
  - 消去中は電源を切らないこと。
  - メーカー、機種によっては消去の完了までに数時間を要することがあること。

8. コンピューターの消去後に利用者がスマートフォンで完了画面の QR コードを送信すると、管理サーバーのステータスが「消去完了」になります。ホーム画面で対象のコンピューター名をクリックして詳細画面に進み、ステータスレポートで消去作業のサマリーを確認できます。各画面の機能の詳細は 7 ページ以降をご覧ください。

## 管理サーバーの画面と機能の説明

※ユーザー登録時に提供されたログイン ID とお客様ご自身が設定したログインパスワードをご用意ください。

### 1. ログイン画面

URL: <https://onebe.trustwipe.com/>

ブラウザで上記のURLにアクセスしログインIDでログインしてください。

### 2. ホーム画面

ログイン後に最初に表示される画面です。初回ログイン時は図のように登録されているコンピューターがありません。



### 3. ホーム画面のコンピューター一覧

クライアントプログラムをインストールしたコンピューターの登録が完了するとホーム画面に一覧で表示されます。



- ① コンピューター名: 登録時のコンピューター名です。コンピューター名をクリックすると詳細画面が表示されます。

※コンピューター名は最大 15 文字まで表示され、16 文字以上は省略されます。

- ② グループ: コンピューターが所属しているグループを表示します。  
③ ステータス: 消去作業のステータスが以下のように表示されます。

| ステータス | 状態                  |
|-------|---------------------|
| 消去許可  | 消去許可を付与して消去実行が可能な状態 |
| 消去中   | コンピューターの消去が進行中      |
| 消去完了  | コンピューターから消去の完了通知を受領 |

- ④ 最終履歴日時: 作業や進捗が発生した直近の日時が表示されます。  
⑤ 選択チェックボックス: 消去許可や登録解除など、なんらかの操作対象となるコンピューターを一覧から選択するためのチェックボックスです。  
⑥ 消去認証: コンピューター側の消去プログラムで消去の実行を許可するための機能です。ここで「許可中」となっているコンピューターのみが消去可能な状態です。青い「切り替え」をクリックすることで「許可中/不許可中」を変更します。  
⑦ 一括操作: 一覧から複数のコンピューターを選択し、消去認証などの操作をまとめて実行する機能です。詳細は「6.ホーム画面のまとめ操作」を参照してください。  
※登録中のコンピューターを解除する場合もこの機能を利用します。  
⑧ 検索機能: 一覧から任意のコンピューターを検索して表示します。プルダウンから条件を指定して検索すると一致するコンピューターが表示されます。また「解除済みを含める」を選択すると登録解除したコンピューターも表示できます。  
※登録解除済みのコンピューターは左側にゴミ箱アイコンが表示されます。  
※検索にヒットした数が画面中央下部の「総数」に表示されるので、例えば消去完了したコンピューターが何台かを簡単に調べることができます。

①②③④はソートの対象です。それぞれのタイトルバーをクリックすることでそれをキーとして、昇順または降順に並べ替えることができます。「表示をリセット」をクリックすると初期状態の並びに戻ります。グループをキーにする場合、グループの名称ではなくID番号の順番となります。

#### 4. コンピューターの詳細画面

上記①でコンピューター名をクリックするとこの画面が表示されます。

管理メニュー

- ホーム HOME
- グループ管理 GROUP ADMIN
- 管理者 ADMIN
- サポート SUPPORT
- ログアウト LOGOUT

ホーム

詳細情報

削除認証: 許可中 [切り替え](#) ① 設定保存 キャンセル

コンピューター名: DESKTOP-PRT1CIM

所属グループ: 全体管理 ②

ステータス: ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

備考:

メーカー: Panasonic Corporation

型番: CF-QV1T03VS(CFQV1-1)

製造番号: 1DKSA00636

ドライブ情報1: SAMSUNG MZVLQ256HBJD-00B07 / S6FANE0R300515(0025\_38D3\_1107\_678D) / 238.46 GB

プログラムVer: Ver. 2.0.10.0 +

登録日時: 2021-10-21 01:22:38

履歴

| 日時                  | ステータス  | 操作                    |
|---------------------|--------|-----------------------|
| 2021-10-21 01:35:44 | 消去完了報告 | <a href="#">証明書発行</a> |
| 2021-10-21 01:24:05 | 消去実行中  |                       |
| 2021-10-21 01:23:45 | 消去許可   |                       |

©Copyright OnePie, Inc. All rights reserved.

#### 詳細情報の表示項目

- ① 削除認証: コンピューター側の削除プログラムで削除の実行を許可するための機能です。ここで「許可中」となっているコンピューターのみが削除可能な状態です。青い「切り替え」をクリックすることで「許可中/不許可中」を変更します。  
※ホーム画面の削除認証と連動しています。  
※登録解除後は許可の切り替え操作ができません。「登録解除済み」と表示されます。
- ② 所属グループ: このコンピューターを任意のグループに割り当てることで部署単位での管理を可能にします。部署別の管理が不要な場合は空白のままでも支障ありません。プルダウンから任意のグループを選択して「設定保存」をクリックします。詳しくは 7.グループ管理画面の項をご覧ください。
- ③ ステータス: 削除作業のステータスを表します。  
※ホーム画面のステータスと連動しています。
- ④ ステータスレポート: 削除許可日時や承認者、削除方式および開始/完了日時、コンピューターのハードウェア情報が表示されます。  
削除の完了日時は削除完了後に QR コードをスマートフォンで送信した日時を表します。
- ⑤ 備考: コンピューターや利用者の補足情報を50文字以内で入力できます。クライアントプログラムで登録時に入力した文字列はここに表示されます。(空白のままでも支障ありません)
- ⑥ コンピューター情報: メーカー、型番、製造番号のほか、搭載ドライブの情報を最大3個まで表示します。

※ここにはクライアントプログラムの登録時の情報が表示されます。

※消去実行の直前にコンピューターの製造番号や搭載ドライブに変更が検知された場合のみ変更情報が赤文字で表示されます。(ドライブの交換、ドライブの新規追加または取り外し、コンピューターのメインボード交換等に伴う製造番号の変更等に対応)

- ⑦ プログラムバージョン:ご利用のクライアントプログラムのバージョン番号です。

登録日時:このコンピューターがサーバーに初回登録された日時です。

- ⑧ 履歴:履歴欄には以下の情報が時系列で表示されます。

| ステータス  | 状態                         |
|--------|----------------------------|
| 消去許可   | 消去許可を付与していて消去実行が可能な状態      |
| 消去不許可  | 消去許可が付与されていないため消去が実行不可能な状態 |
| 消去実行中  | コンピューターの消去が進行中             |
| 消去完了報告 | QRコードによる消去の完了通知を受領         |
| 端末解除   | 手動または再登録等の操作で登録解除済み        |

## 5. ホーム画面のまとめ操作について

複数台のコンピューターに対して消去の許可や任意のコンピューターを登録から解除するにはホーム画面のまとめ操作機能を利用します。

まとめ操作を利用すると選択した 1 台/複数台のコンピューターに対して、消去の許可、消去の不許可、グループの変更、登録解除を一括で適用できます。



操作したいコンピューターの選択チェックボックスをオンにして、プルダウンから適用したい操作を選択し、「実行」ボタンをクリックします。

※「すべて選択」をチェックすると画面に表示中のすべてコンピューター(最大 50 台)に対してまとめ操作を適用します。2 ページ目以降のコンピューターは含まれません。ページごとに操作を繰り返してください。

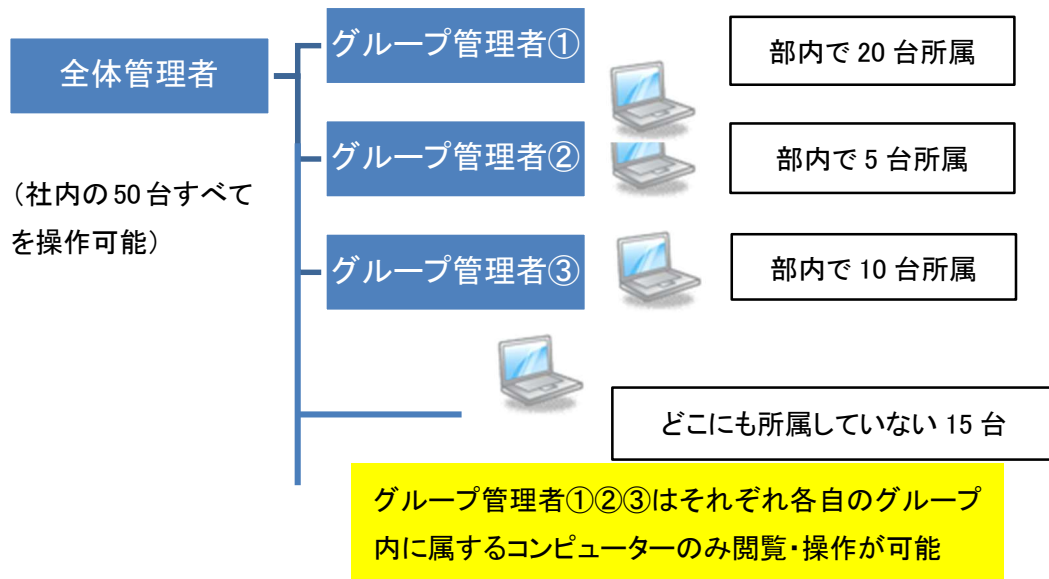
## 6. グループ管理画面

グループ管理機能を使うことで社内のコンピューターを所属部署別に分類し、各部署（グループ）の責任者による個別管理が可能です。

※組織内のすべてのコンピューターを1名または限られた管理者が一元管理する場合、本機能の設定は必要ありません。

※コンピューターの登録時にグループ指定がない場合、全体管理の配下に登録されます。

### ● 運用例



### ● 全体管理者とグループ管理者の権限の違い

|               | 全体管理者       | グループ管理者 |
|---------------|-------------|---------|
| 操作対象          | すべてのコンピューター | グループ内のみ |
| 消去の認証(許可/不許可) | ○           | ○       |
| 管理者の登録、削除     | ○           | ×       |
| グループの作成、編集    | ○           | ×       |
| 所属グループの変更     | ○           | ×       |
| 詳細画面の備考の入力    | ○           | ○       |
| 登録解除          | ○           | ×       |
| ステータスレポート閲覧   | ○           | ○       |

### 管理者の登録方法

利用開始時は全体管理者が1名のみ登録されています。全体管理者のIDでログインし、グルー

プ管理画面上部の「管理者一覧」で管理者を新規に登録できます。

新規登録ボタンをクリックして表示される画面で、ログイン ID、ログインパスワードを入力し、プルダウンから管理者の所属を選んで「登録」ボタンを押します。

※ログイン ID は半角英数字で 8 文字以上をご利用ください。

※パスワード は英小文字、英大文字、数字、記号(`~!@#\$%^&\*()\_+¥|][<>.,/?`)の内から少なくとも 3 つの文字種を含む 8 文字以上の文字列を入力してください。

※全体管理者とグループ管理者は合計で 50 名まで作成可能です。

※すべての管理者をグループ管理者にすることはできません。全体管理者が最低 1 名必須です。

## 管理者の削除方法

削除したいログイン ID の右端にチェックを入れて、「削除する」ボタンをクリックします。

※現在ログインしているログイン ID は削除できません。別の全体管理者アカウントでログインしなおしてから任意の ID を削除してください。

※ユーザー登録時に発行された全体管理者の ID は削除できません。

## グループの登録や編集方法

利用開始時に 10 個のグループがあらかじめ用意されています。グループは最大で 50 個作成できます。グループの作成、編集、削除は、全体管理者の ID でログインし、グループ管理画面下部の「グループ一覧」で行います。

新たにグループを作成するには[新規登録]ボタンを押して登録画面でグループ名称を入力して登録ボタンをクリックします。グループ名称は 25 文字以内で設定できます。

グループの名称変更はグループ名をクリックして編集画面で名称を変更して保存してください。

グループを削除するときは不要なグループの右端にチェックを入れて「削除する」ボタンをクリックします。「全体管理」は削除することができません。

## コンピューターを任意のグループに移行する方法

- コンピューター側のクライアントプログラムの登録時に登録画面の「グループ ID」のプルダウンから 1-10 のグループを選択する。この数字はグループ名称ではなくグループ一覧画面の左に表示されている ID (1-10 の数) を表します。登録画面で空白のまま指定なしで登録するコンピューターは全体管理所属となります。クライアントプログラムでは 11 以降の ID のグループを選択することはできません。
- ホーム画面でグループ移行したいコンピューターを一覧から選択して一括操作でグループ変更する。
- 詳細画面のプルダウンで移行先グループを選択して保存する。

## 7. 管理者画面

主に契約情報を確認する画面です。

- ① アドミニストレータ設定: 初期状態ではご契約時に登録したメールアドレスが表示されます。
- ② インストール情報: クライアントプログラムのインストール時に必要なシリアル番号です。
- ③ 消去ライセンス数: 消去実行可能な残数/消去の契約回数

## 8. その他

### 登録台数と契約数について

契約数を超過してコンピューターを登録することは可能です。コンピューター側で消去を実行した回数をカウントするため、契約数を超過して消去を実行することはできません。また消去を許可しても実際にコンピューター側で消去が実行されなければ、契約数を消費することはありません。

### 消去を一度実行したあとにもう一度消去する場合の注意点

同一アカウント(同一シリアル番号)内で 1 台のコンピューターを重複して登録することはできません。消去を実行後に、同じコンピューターを再セットアップして再び登録する場合は、ステータスが消去中、消去完了に関わらず、そのコンピューターをいったん登録解除してください。

管理サーバー上でコンピューターの登録完了後に、クライアントプログラムを起動すると登録画面が表示されることがあります。この場合、コンピューターがインターネットに接続していることを確認の上、もう一度「オンラインで登録」ボタンを押してください。